

【2021年3月／2021年4月】 ポプラ社一般書単行本 刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

3月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
エッセイ	3月8日	169698	家族の味	著 平野レミ 絵 和田誠	1,400	四六判	160	平野レミ：東京生まれ。料理愛好家・シャンソン歌手。主婦として料理を作り続けた経験を生かし、NHK「平野レミの早わざレシピ」などテレビ、雑誌を通じて数々のアイデア料理を発信。また、レミパンやエプロンなどのキッチングッズの開発も手がける。 和田誠：グラフィックデザイナー、イラストレーター。74年、講談社出版文化賞ブックデザイン部門受賞。89年ブルーリボン監督賞、94年菊池寛賞、97年毎日デザイン賞、2019年日本アカデミー賞会長特別賞ほか、受賞多数。2019年逝去。	【阿川佐和子さん、清水ミチコさん推薦！】 平野レミさんがはじめて料理を作った思い出から、和田誠さんとのなれそめや子育て方針まで、家族と料理への愛情がぎゅっと詰まったエッセイ集。31品のオリジナルレシピに加え、夫・和田誠さんとの対談、阿川佐和子さん、清水ミチコさんとの鼎談も収録。
エッセイ	3月15日	169704	ひとりなら、それでいいじゃない。	曾野綾子	1,200	四六判	240	作家。『遠来の客たち』（筑摩書房）で文壇デビューし、芥川賞候補に。『老いの僥倖』幻冬舎新書、『夫の後始末』（講談社）などベストセラー多数。	さまざまな世代から共感の声、続々！シリーズ累計14万部突破！ 穏やかな日常に突然おとずれたコロナ禍。こんな時代だからこそ、孤独を愉しみ、人に頼らず身の程に合わせて生きたい。そんな、コロナ禍とともに生きる新しい指針となる一冊。
文芸	3月8日	169476	広告の会社、作りました	中村航	1,500	四六判	208	2002年『リレキショ』にて第39回文藝賞を受賞しデビュー。続く『夏休み』『ぐるぐるまわるすべり台』は芥川賞候補となる。『ぐるぐるまわるすべり台』では野間文芸新人賞受賞。ベストセラーとなった『100回泣くこと』ほか、『デビクロクんの恋と魔法』、『トリガール！』等、映像化作品多数。	突然会社の倒産を告げられ、無職になったデザイナーの遠山健一。 安定した転職先を求めたはずが、飛び込んだ先はコピーライター・天津孔明の個人事務所——まさかのフリーランスだった。いい仕事、いい会社ってなんだろう？若手デザイナーと敏腕（変人）コピーライターのコンビが大会社に挑む！
文芸	3月15日	169001	片をつける	越智月子	1,500	四六判	216	1965年福岡県生まれ。女性誌のライターなどを経て、2006年に『きょうの私は、どうかしている』でデビュー。他に『モンスターU子の嘘』『花の命は短くて』『帰ってきたエンジェルズ』『咲ク・ララ・ファミリア』など。	独身の阿紗は、ひょんなことから、隣に住む謎の老婆・八重の部屋の片づけを手伝うことになる。人生で背負いこんだ荷物と厄介ごと。一つ一つ片をつける中で、八重と阿紗が選んだ道とは。切なくも心温まる感動傑作。
ビジネス	3月15日	168998	1シート・マーケティング	臼浦 崇典	1,900	四六判	400	「READINGLIFEの提供」をコンセプトに池袋に「東京天狼院」を出店。天狼院書店は現在、全国に11店舗を展開。同書店は「おはよう日本」「あさイチ」「モーニングバード」「モヤモヤさまぁ〜ず2」などに取り上げられ、著者本人も『週刊ダイヤモンド』『日経ビジネス』にて書評コーナーを連載。現在注目の実業家。	本書で提唱する1シート・マーケティングとは、とかく難解になりがちなマーケティングの理論を、誰もが習得できる「7つのマーケティング・クリエーション」という理論で紙1枚にまとめた、まったく新しいマーケティング理論。これを習得することによって、世の中のビジネスをマーケティングの視点で読み解けるようになり、自分でもマーケティング戦略を1枚のシートで割り上げることができるようになる！
実用	3月15日	166710	図ほんのスポーツ栄養食	大前恵	1,500	A5判	128	管理栄養士。PR会社勤務、主婦を経て、1999年に明治に入社。プロ野球やサッカーの選手らを栄養面でサポート。野球日本代表「侍ジャパン」やバレーボール女子日本代表などの大会や合宿などにも帯同する。初の著書。	大谷翔平選手、鈴木誠也選手も実践。10代アスリートに必要な食事・栄養の基本。「筋肉をつけてパワーを出したい」「ベストコンディションを維持したい」「ケガを早く治したい」……など、アスリートの悩みや課題を「食事と栄養」で解決できる一冊。
実用	3月15日	169681	コーヒーで学ぶSDGs	川島良彰 池本幸生 山下加夏	1,700	四六判変形	256	川島良彰：ミカフェート代表取締役、コーヒーハンター、日本コーヒー業界の第一人者。 池本幸生：東京大学教授、アジアの貧困・経済の専門家 山下加夏：元国際環境NGO職員。現ミカフェート社員	その一杯のコーヒーが、地球の未来を変える！SDGsを実現するために、コーヒーができることとは何か？世界各地のコーヒー農園を巡る3名の著者が実体験や最新データをもとに、コーヒーを題材にSDGsを分かりやすく解説！

4月

ジャンル	配本日	ISBN 978-4-591-	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	4月12日	170007	セゾンサンカンシオン	前川ほまれ	1,900	四六判	368	1986年、宮城県生まれ。看護師として働いた後、小説を書き始める。2017年、『跡を消す 特殊清掃専門会社デッドモーニング』で、第7回ポプラ社小説新人賞を受賞し、翌年デビュー。第二作『シークレット・ペイン 夜去医療刑務所・南病舎』が、第22回大藪春彦賞の候補となる。	アルコール依存症の母親をもつ柳岡千明は、退院後の母親が入所する施設「セゾン・サンカンシオン」へ見学に行く。そこは、さまざまな依存症に苦しむ女性たちが共同生活を行いながら、回復に向けて歩んでいくための場所だった。迷惑を掛けられてきた母親に嫌悪感を抱く千明だが、施設で同じくアルコール依存症を患っているパピコとの出会いから、母親との関係を見つめなおしていく——。人間の孤独と再生にやさしく寄り添う感動作！
文芸	4月12日	170069	ジュリーの世界	増山実	1,700	四六判	328	1958年大阪府生まれ志社大学法学部卒業。『勇者たちへの伝言』でデビュー。同作は2016年「第4回大阪ほんま本大賞」を受賞。他の著書に『空の走者たち』、『風の僕らに海の歌を』、『波の上のキネマ』、『甘夏とオリオン』がある。	かつて京都に「河原町のジュリー」と呼ばれる有名なホームレスがいた。無数の視線に晒されても目抜き通りを悠然と歩き、商店街の一等地で眠る男。出会った人たちはそのたび新たな物語をまどわせ彼は街の伝説と化していく——。ガラス玉のような目で見つめる彼はいったい何者なのか。なぜこの街にやってきたのか。彼と人生を交錯させた人々はやがてその「真相」を知る。人間の尊厳と人が物語ることの意味を問う感動作。
文芸	4月12日	170021	蝶の眠る場所	水野梓	1,800	四六判	400	1974年生まれ。日本テレビ報道局勤務。大学時代に米国の大学に留学し、ジャーナリズム学部を卒業。報道局で警視庁や皇室などを取材、原子力・社会部デスクを経て、中国総局特派員、国際部デスク。帰国後はNNNドキュメントのディレクター・プロデューサー、news every. のデスク、読売新聞で医療部・社会保障部・教育部の編集委員を務める。四月より BS日テレ深層 NEWSキャスターを務める。	「私は事件には一切関係していません。真犯人は別にいます」そう言い残して絞首台を登っていった男。時は巡り、小学生が学校の屋上から落ちて亡くなるという事故が起きる。いじめによる自殺の線で見つめていたテレビ局社会部の女性記者は、少年の母親が、冤罪が疑われる事件の加害者として極刑となった男の娘だと知る。果たして二つの事件と事故に関連はあるのか!? 警察権力との暗闘の果てに、女性記者が辿りついた真実とは
ライフスタイル・エッセイ	4月12日	170014	「どっちでもいい」をやめてみる	引田かおり	1,600	A5判	160	夫の引田ターセンと共に、2003年より東京・吉祥寺にある「ギャラリー feve」とパン屋「ダンディゾン」を営む。さまざまなジャンルの作り手と交流を深め、新しい魅力を引き出し、世に提案していくことを大きな喜びとしている。	「どっちでもいい」をやめて、人まかせにせず、自分の「好き」を優先させると、人生を気持ちよく歩けます。本書では、正直な気持ちを表現できるようになれるヒントを、文章と写真で紹介。引田かおりさんが選び抜いた器や洋服、長年集めたかご、ガラス、暮らしの工夫も必見です。